

※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

結果のポイント

1 偏差値の経年変化



○知識と活用ともに偏差値50を上回っている。

3 領域別の結果

領域	県正答率	全国正答率	目標値
聞くこと	72.3	71.8	71.7
読むこと	56.1	55.7	56.8
書くこと	43.7	42.0	43.0

○全ての領域において、全国正答率を上回っている。
▲「読むこと」において、目標値を0.7P下回っている。

2 観点別の結果

観点	県正答率	全国正答率	目標値
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	58.5	57.6	57.9
外国語表現の能力	40.7	39.2	41.5
外国語理解の能力	61.5	61.2	62.4
言語や文化についての知識・理解	60.4	58.9	58.8

○全ての観点において、全国正答率を上回っている。
▲「外国語表現の能力」において目標値を0.8P、「外国語理解の能力」において目標値を0.9P下回っている。

4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	66.8	66.3	65.7
短答	36.8	34.6	40.0
記述	39.9	38.6	41.1

○全ての解答形式において、全国正答率を上回っている。
▲「短答」において目標値を3.2P、「記述」において目標値を0.2P下回っている。

参考:平成31年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に関する指導資料

■ つまずきが見られた問題

大問5 県正答率15.0% 県無解答率31.1%
【ねらい】対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。

【問題例】Aoiと留学生のTomが動物園のホームページを見ながら会話をしている。Tomからたずねられたことに対して、ホームページの情報をもとにAoiが答える内容を3語以上の1文で書く。

【スクリプト】

Aoi: Look at this. We can see two new animals at ABC zoo.
 Tom: Wow, they are cute. I like koalas. What's this koala's name?
 Aoi: Its name is Koron. Koron is a girl. She is from Australia.
 Tom: Really? When did she come?
 Aoi: ()

【正答例】 She came (here) in April.
【誤答としての予想】たずねられたこと(入園した月)以外を答えている、3語以上の条件を満たしていない、語順の誤り など

▲聞いて把握した内容について、適切に応じることに課題がある。

◆ 指導のポイント

- 「聞くこと」が目的をもって行う能動的な活動であることを念頭に置き、ただ聞いて理解するだけの活動にならないようにする。
- 目的や状況、場面などの設定を工夫しながら、話し手がどのような人で、何を求めているのか、この場面でのどのような応答がふさわしいのかを考えさせ、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させる。

★ 指導の具体例

「聞いて把握した内容について、適切に応じることができる力」を育成するための学習過程

1. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを把握し、学習の見通しをもつ。
2. 英語を聞き、応答すべきことを捉える。
3. 考えや情報などを整理し、表現する。
4. 考えや情報などを再整理し、表現を改善する。
5. 学んだことを言語活動で再び活用し、学習を振り返る。

表現につなげるための情報の把握と整理の工夫に関する指導

学習過程の前半と後半で、何をすべきかが明示されているワークシートと、自力でメモを取りながら情報を把握していくワークシートを使い分けることにより、自分の力で情報を把握・整理することができるよう支援する。

整理した情報を基に、自分の考えを表現する工夫に関する指導

日本語や記号を使って書いたメモをもとに、マッピングによって情報を整理し、考えに番号を振って伝える順序を検討したり、becauseなどの接続詞を書いて構成を検討したりするなど、複数の領域を関連付けた指導を行う。